

東京都島しょ農林水産総合センター研究成果発表会の開催

～ 豊かな海の復活をめざして ～

日本の経済水域の約4割を占める広大な東京の海で、今、何が起きているのか。東京湾から伊豆諸島、小笠原諸島海域で取り組んだ「漁場の荒廃・海の異変対策」の調査・研究成果を中心に報告いたします。東京の海に興味のある都民の方のご来場をお持ちしております。

主な発表課題

■ “稚魚のゆりかご” アマモ場の復活をめざして

水生生物の大切な保育場である東京湾のアマモ場復活への取り組みを報告します。

■ 三宅島におけるテングサ回復に向けた取り組み

三宅島の代表的な水産物テングサの噴火被災漁場の回復に向けた方策について報告します。

■ サメに挑み、サメを知る。～漁業被害軽減に向けた取り組み～

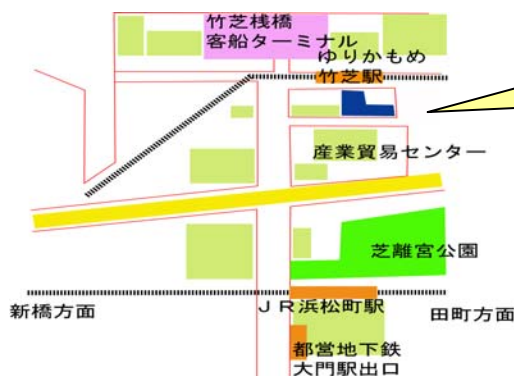
漁業被害を及ぼす大型サメ類とその被害実態、対策等についての取り組みを報告します。

☆このほかに5課題の発表があります。

日程・会場

2月20日(水) 13:30～17:30

東京都島しょ農林水産総合センター2階 視聴覚室
港区海岸1-13-17



■ JR 山手線「浜松町」北口より竹芝
橋方面へ徒歩7分
■ 都営浅草・大江戸線「大門駅」よ
り竹芝橋方面へ徒歩10分
■ 新交通システムゆりかもめ「竹芝
駅」すぐ前

参加費無料・申し込み不要

問合せ先 東京都島しょ農林水産総合センター 振興企画室 堤・岡村・有馬
電話 03-3433-3253

研究成果発表会プログラム内容骨子

【水産資源の持続的利用推進研究】

1) 見えてきた！伊豆諸島産キンメダイのライフサイクル

資源管理に重要な産卵から稚仔魚期の生息場所などの秘密が少しずつ解ってきました。

【漁場の荒廃・海の異変対策】

2) “稚魚のゆりかご” アマモ場の復活を目指して

内湾の資源維持に重要な役割を果たしているアマモの増殖方法等を明らかにしました。

3) アントクメ藻場造成技術の開発

サザエ、アワビの餌や魚類の幼稚仔の生育の場として重要な海藻(アントクメ)の藻場を回復させる方法を開発しました。

4) 三宅島におけるテングサ回復に向けた取り組み

噴火被災漁場の現状と回復状況、回復の方法についての取り組みを報告します。

5) 八丈島のテングサを救え！藻場の衰退防止に挑む

壊滅的に減少した八丈島のテングサ減少原因を究明し、対応策について考えました。

6) サメに挑み、サメを知る。～漁業被害の軽減に向けた取り組み～

大型サメによる漁業被害と被害を及ぼすサメの種類が明らかになりました。

7) サメの食利用をめざして

サメの臭いを消し、練り製品を作り、試食会を開催しました。その結果は・・・

8) 小笠原における造礁サンゴの白化現象とその回復

地球温暖化による高水温により造礁サンゴが白化し死滅する現象が発生しました。

その回復状況と造礁サンゴを人工的に生産する方法を報告します。